



株式会社タケエイ (東1: 2151)

平成28年3月期 (2016年3月期)

第1四半期決算 補足資料

※過去のIR資料につきましては、
こちらをご参照ください。

<http://ir.takeei.co.jp/html/siryu.htm>

決算の概況 (連結)



※前同比=前年同期比

単位: 百万円

	H26/6 (2014/6)		H27/6 (2015/6)		
	<実績>	売上高比	<実績>	売上高比	前同比
売上高	5,272	100.0%	6,867	100.0%	+30.2%
営業利益	325	6.2%	423	6.2%	+29.9%
経常利益	295	5.6%	399	5.8%	+35.3%
税金等調整前 四半期純利益	2,702	51.3%	403	5.9%	-85.1%
四半期純利益◆	2,503	47.5%	221	3.2%	-91.1%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益 ※百万円未満切捨て

主な変動要因

<外部環境>

- ・2020年東京オリンピックに向けて期待の高まる都心の再開発は、一部商業施設の改装工事がスタートを切ったものの、オリンピック競技会場や宿泊施設等の工事については未だ本格化しない状況

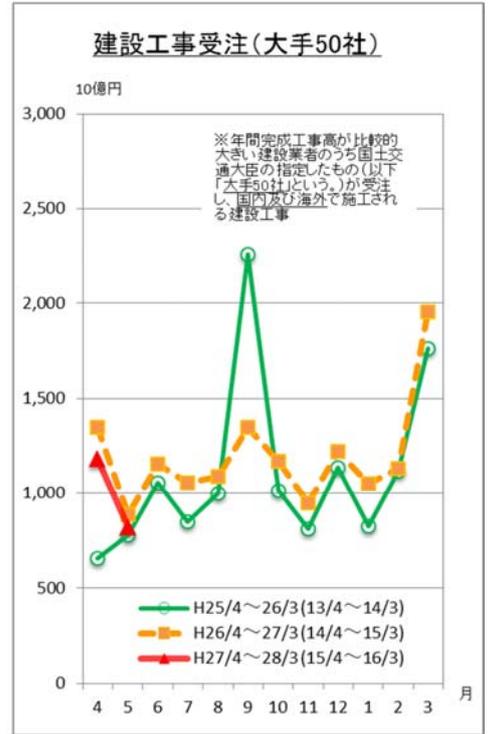
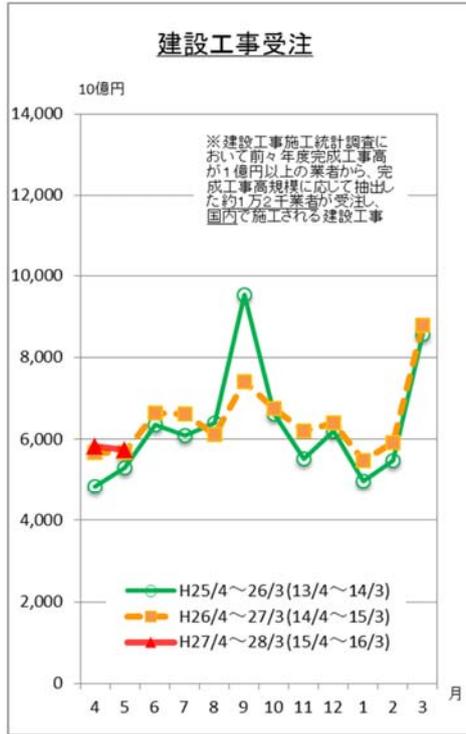
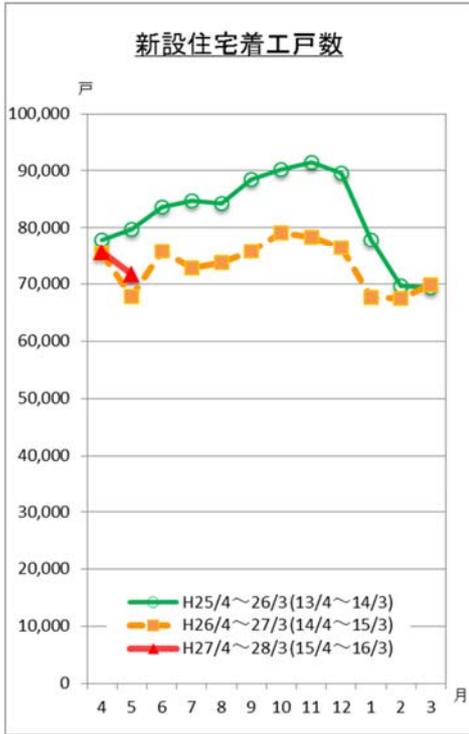
<当社グループの動向>

- ・H26/6月末に子会社化した富士車輛(株)による新規連結効果
- ・1年前より営業体制を強化して取り組んできた提案型一括請負業務の収益寄与
- ・昨年度事業立ち上げに伴い赤字となっていたグループ会社2社の黒字転換

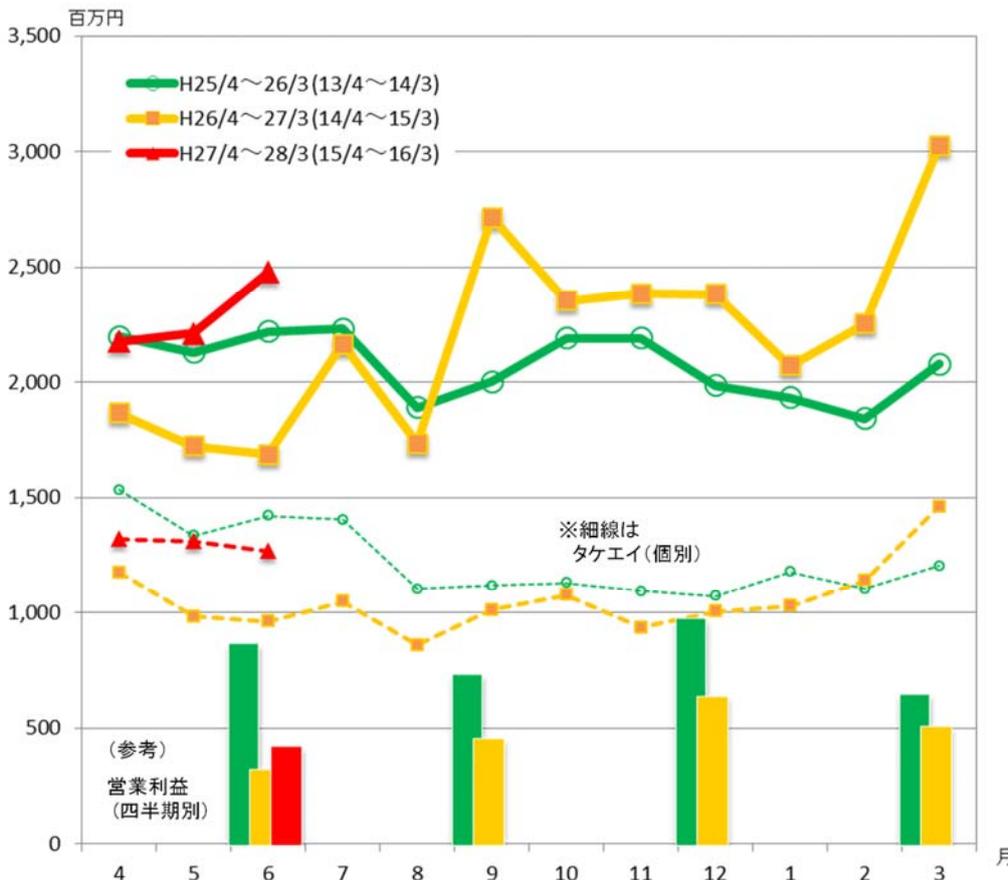
<新設住宅着工戸数>

<建設工事受注動態統計>

(出所:国土交通省)



タケエイグループ 月次売上動向 (連結・個別)



※岩手県大槌プロジェクト(東日本大震災災害廃棄物処理再資源化事業)における H25/7・9月の月次決算の売上計上につきましては、平準化して調整表示しております。

(注)
当社では、月々の売上数値につきましては未監査であり、通常開示しておりません。
しかし、投資家の皆様にタケエイグループの事業活動をご理解いただく上で有益な情報のひとつであると考え、監査済のものについて決算補足資料に記載しています。

グループ各社の売上および営業利益(率)の動向 <累計>

単位: 百万円 / Millions of yen

会社名	売上高 (Net sales)			営業利益 (Operating income)			営業利益率 (OI ratio)		主な業務
	H26.6 (2014/6)	H27.6 (2015/6)	前同比(YoY)	H26.6 (2014/6)	H27.6 (2015/6)	前同比(YoY)	H26.6 (2014/6)	H27.6 (2015/6)	
連結	5,272	6,867	+30.2%	326	424	+29.9%	6.2%	6.2%	
<廃棄物処理・リサイクル事業: 建設廃棄物処理>									
(株)タケエイ	3,116	3,899	+25.1%	154	244	+58.3%	4.9%	6.2%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・リサイクル・最終処分
(株)リサイクル・ピア	760	357	-53.0%	-30	-69	—	-4.0%	-19.2%	中間処理・リサイクル(解体系建設混合廃棄物処理を得意)※H27/6(株)タケエイに吸収合併
<廃棄物処理・リサイクル事業: マテリアル>									
(株)池田商店	149	159	+6.7%	23	36	+58.3%	15.4%	22.9%	再生骨材・再生砕石への再資源化(H20/4 子会社化)
(株)ギプロ	278	229	-17.6%	121	90	-26.2%	43.6%	39.1%	廃石膏ボード再資源化
(株)グリーンアローズ関東	28	100	+253.8%	-52	5	—	-183.5%	5.3%	廃石膏ボード再資源化(H26/4開業)
(株)グリーンアローズ東北	—	—	—	—	-11	—	—	—	廃石膏ボード再資源化(H26/8設立、H27/7開業)
(株)タケエイメタル(旧(株)金山商店)	271	205	-24.4%	23	0.4	-98.3%	8.3%	0.2%	鉄・非鉄スクラップのリサイクル(H25/1 子会社化)
東北交易(株)	26	63	+139.7%	-8	6	—	-30.2%	9.6%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石 製造(リサイクル)(H25/12 子会社化)
<廃棄物処理・リサイクル事業: ランドフィル>									
(株)北陸環境サービス	294	485	+65.0%	135	226	+68.2%	45.8%	46.7%	管理型最終処分場の運営、廃プラリサイクル(H21/3 子会社化)
(株)信州タケエイ(旧 諏訪重機運輸(株))	298	434	+45.8%	6	35	+522.6%	1.9%	8.0%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・リサイクル、解体等(H23/7 子会社化)
橋本建材興業(有)	34	—	—	5	—	—	15.9%	—	再生骨材・再生砕石の生産・販売(H25/1より連結) ※H27/4(株)信州タケエイに吸収合併
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-6	-6	—	—	—	<事業準備会社>管理型最終処分場
<再生可能エネルギー事業>									
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	—	-0.1	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営(H26/12設立)
(株)津軽バイオマスエナジー	—	—	—	-3	-13	—	—	—	<事業準備会社>木質バイオマス発電(H25/4設立)
(株)花巻バイオマスエナジー	—	—	—	—	-13	—	—	—	<事業準備会社>木質バイオマス発電(H26/10設立)
花巻バイオチップ(株)	—	—	—	—	-2	—	—	—	<事業準備会社>木質バイオマス発電用燃料の製造・供給(H27/2設立)
(株)タケエイグリーンリサイクル(旧(株)富士リパース)	—	157	—	—	-24	—	—	-15.3%	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化(H26/10 子会社化)
(株)タケエイエナジー&パーク	28	31	+7.8%	3	6	+114.3%	9.6%	19.1%	パークゴルフ場運営(H21/9開業)、太陽光発電(H26/4開業)、派遣業務(H25/3撤退)
<環境エンジニアリング事業>									
富士車輛(株)	—	1,144	—	—	16	—	—	1.4%	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売(H26/6 子会社化)
<環境コンサルティング事業>									
環境保全(株)	134	118	-12.1%	4	-14	—	2.8%	-12.2%	環境計量証明事業(H20/10 子会社化)
(株)アースアプレイザル	105	120	+14.4%	-14	17	—	-13.5%	13.8%	環境コンサルティング(H25/4 子会社化)
消去	-249	-634		-34	-105				

主な変動要因

・(株)タケエイ: 昨年度より営業体制を強化して取り組んできた提案型一括請負業務について解体工事等を含む大型現場が数か所で稼働し、売上に大きく寄与
6月(株)リサイクル・ピアを吸収合併

・(株)北陸環境サービス: スポット案件等が大きく寄与

・(株)ギプロ: 都内再開発案件等が寄与し高水準維持

・富士車輛(株)(H26/6末子会社化): 引き続き当初想定を上回る売上・利益を計上

・東北交易(株)(H25/12子会社化)・(株)グリーンアローズ関東(H26/4操業開始): 稼働が安定し受け入れが増加傾向、両社ともに黒字転換

・事業化に向けた事前調査・建設工事中の会社が増加(木質バイオマス発電事業、最終処分場開発等)

損益動向 (連結)

単位: 百万円

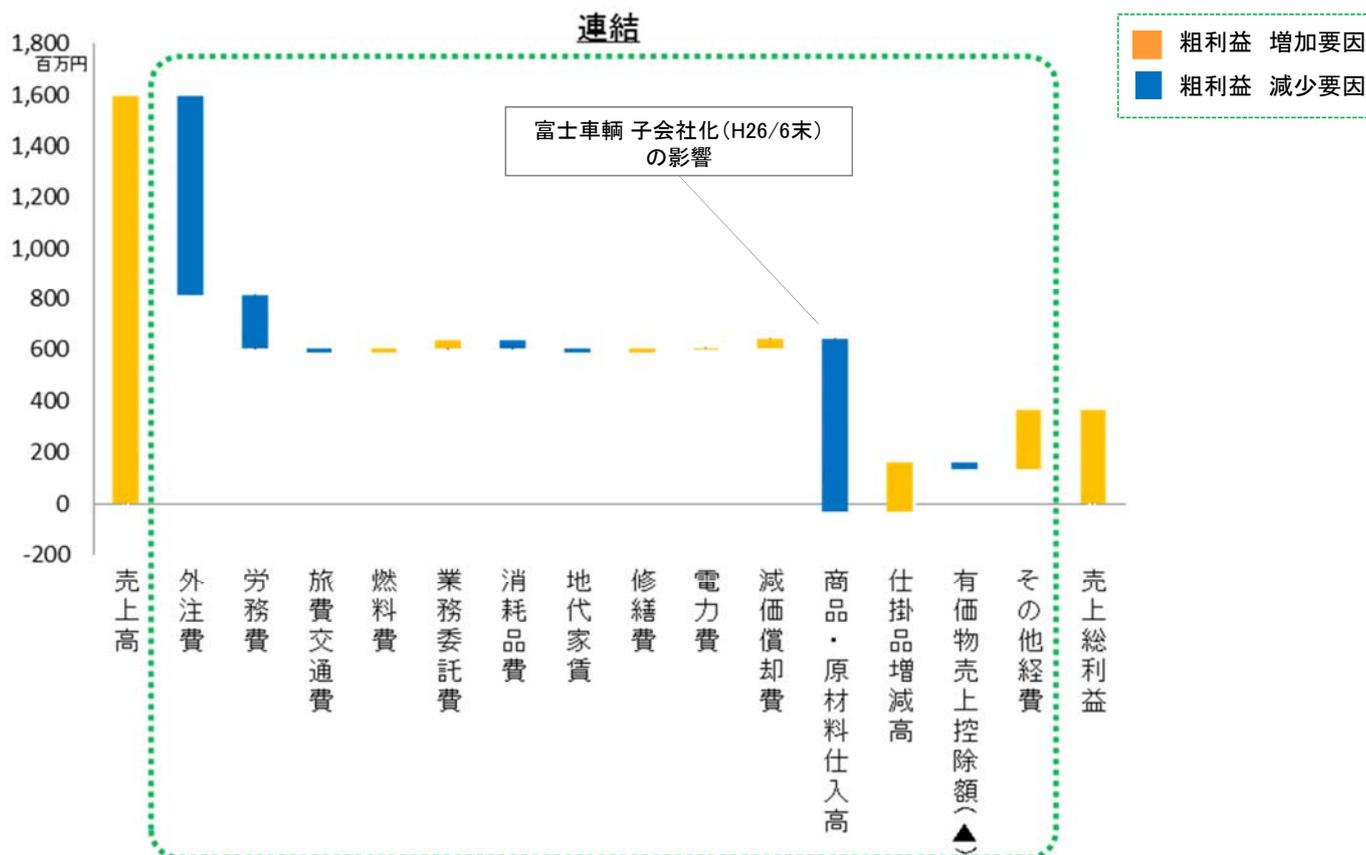
	H26/6		H27/6			
	(2014/6)	売上高比	(2015/6)	売上高比	(売上高比増減)	前同比
売上高	5,272	100.0%	6,867	100.0%		+30.2%
売上原価	4,098	77.7%	5,329	77.6%	-0.1%Pt	+30.0%
当期処理(製造)原価	4,098	77.7%	5,336	77.7%	-0.0%Pt	+30.2%
(うち) 外注費	1,723	32.7%	2,503	36.4%	+3.8%Pt	+45.2%
労務費	947	18.0%	1,157	16.8%	-1.1%Pt	+22.1%
経費	1,583	30.0%	2,269	33.0%	+3.0%Pt	+43.3%
(うち) 旅費交通費	107	2.0%	121	1.8%	-0.3%Pt	+13.2%
燃料費	165	3.1%	151	2.2%	-0.9%Pt	-8.1%
業務委託費	161	3.1%	128	1.9%	-1.2%Pt	-20.6%
消耗品費	126	2.4%	161	2.3%	-0.1%Pt	+27.4%
地代家賃	70	1.3%	81	1.2%	-0.1%Pt	+17.1%
修繕費	175	3.3%	161	2.3%	-1.0%Pt	-8.2%
電力費	100	1.9%	98	1.4%	-0.5%Pt	-1.6%
減価償却費	437	8.3%	400	5.8%	-2.5%Pt	-8.6%
商品・原材料仕入高	37	0.7%	711	10.4%	+9.6%Pt	+1804.9%
仕掛品増減高	17	0.3%	-172	-2.5%	-2.8%Pt	—
有価物売上控除額(▲)	-158	-3.0%	-134	-1.9%	+1.1%Pt	-15.5%
売上総利益	1,174	22.3%	1,538	22.4%	+0.1%Pt	+31.0%
販売費及び一般管理費	848	16.1%	1,115	16.2%	+0.1%Pt	+31.4%
人件費	541	10.3%	696	10.1%	-0.1%Pt	+28.6%
その他経費	307	5.8%	419	6.1%	+0.3%Pt	+36.4%
(うち) のれん償却	35	0.7%	44	0.6%	-0.0%Pt	+27.9%
営業利益	326	6.2%	424	6.2%	-0.0%Pt	+29.9%
営業外収益	15	0.3%	24	0.4%	+0.1%Pt	+67.4%
(うち) 持分法による投資利益	1	0.0%	—	—	—	—
営業外費用	45	0.9%	48	0.7%	-0.2%Pt	+7.0%
(うち) 支払利息	36	0.7%	38	0.6%	-0.1%Pt	+5.4%
持分法による投資損失	—	—	2	0.0%	—	—
経常利益	295	5.6%	400	5.8%	+0.2%Pt	+35.3%
特別利益	※※ 2,457	46.6%	4	0.1%	-46.5%Pt	-99.8%
特別損失	50	0.9%	0.05	0.0%	-0.9%Pt	-99.9%
税金等調整前四半期純利益	2,703	51.3%	403	5.9%	-45.4%Pt	-85.1%
法人税、住民税及び事業税	215	4.1%	194	2.8%	-1.3%Pt	-10.0%
法人税等調整額	-45	-0.8%	-37	-0.5%	+0.3%Pt	—
非支配株主に係る四半期包括利益	29	0.5%	24	0.4%	-0.2%Pt	-14.4%
四半期純利益 ◆	2,503	47.5%	222	3.2%	-44.2%Pt	-91.1%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益 ※百万円未満 四捨五入

➡ ページ⑦「粗利益 増減要因」参照

※※ 富士車輛(株)子会社化に伴う
「負ののれん発生益」2,400百万円 : 前期(特別利益)

※H26/6決算 と H27/6決算 との比較



貸借対照表の動向 (資産の部) (連結)

単位: 百万円 / Millions of yen

	H27/3末 (2015/3)		H27/6末 (2015/6)		
	[FY 2014]	構成比	[FY 2015:1Q]	構成比	増減額
(資産の部)					Increase/decrease
流動資産	18,178	38.7%	17,614	36.4%	-564
現金及び預金	10,583	22.5%	10,451	21.6%	-132
受取手形及び売掛金	5,385	11.5%	4,860	10.0%	-525
商品及び製品	16	0.0%	12	0.0%	-4
仕掛品	712	1.5%	912	1.9%	+200
原材料及び貯蔵品	596	1.3%	606	1.3%	+10
繰延税金資産	334	0.7%	328	0.7%	-6
未収入金	279	0.6%	131	0.3%	-148
その他	279	0.6%	317	0.7%	+38
貸倒引当金	-9	-0.0%	-4	-0.0%	+5
固定資産	28,219	60.1%	30,202	62.4%	+1,983
有形固定資産	25,157	53.6%	27,176	56.2%	+2,019
建物及び構築物	6,391	13.6%	6,343	13.1%	-48
機械装置及び運搬具	3,125	6.7%	3,045	6.3%	-80
最終処分場	765	1.6%	685	1.4%	-80
土地	12,017	25.6%	12,016	24.8%	-1
建設仮勘定	1,996	4.3%	4,256	8.8%	+2,260
その他	861	1.8%	829	1.7%	-32
無形固定資産	1,093	2.3%	1,054	2.2%	-39
のれん	868	1.8%	824	1.7%	-44
その他	224	0.5%	229	0.5%	+5
投資その他の資産	1,968	4.2%	1,971	4.1%	+3
投資有価証券	503	1.1%	522	1.1%	+19
繰延税金資産	271	0.6%	220	0.5%	-51
その他	1,275	2.7%	1,307	2.7%	+32
貸倒引当金	-82	-0.2%	-79	-0.2%	+3
繰延資産	535	1.1%	548	1.1%	+13
資産合計	46,933	100.0%	48,365	100.0%	+1,432

※百万円未満切捨て

単位：百万円 / Millions of yen

	H27/3末 (2015/3)		H27/6末 (2015/6)		増減額 Increase/decrease
	[FY 2014]	構成比	[FY 2015:1Q]	構成比	
（負債の部）					
流動負債	9,473	20.2%	9,482	19.6%	+9
買掛金	1,547	3.3%	1,484	3.1%	-63
短期借入金	1,702	3.6%	1,851	3.8%	+149
1年内返済予定の長期借入金	3,367	7.2%	3,660	7.6%	+293
1年内償還予定の社債	128	0.3%	128	0.3%	+0
未払法人税等	435	0.9%	176	0.4%	-259
その他	2,292	4.9%	2,181	4.5%	-111
固定負債	12,160	25.9%	13,470	27.9%	+1,310
社債	144	0.3%	144	0.3%	+0
長期借入金	9,611	20.5%	11,042	22.8%	+1,431
繰延税金負債	760	1.6%	672	1.4%	-88
退職給付に係る負債	301	0.6%	315	0.7%	+14
資産除去債務	431	0.9%	433	0.9%	+2
その他	911	1.9%	862	1.8%	-49
負債合計	21,634	46.1%	22,953	47.5%	+1,319
（純資産の部）					
株主資本	24,508	52.2%	24,617	50.9%	+109
資本金	6,501	13.9%	6,504	13.4%	+3
資本剰余金	7,184	15.3%	6,968	14.4%	-216
利益剰余金	10,905	23.2%	11,227	23.2%	+322
自己株式	-83	-0.2%	-83	-0.2%	+0
その他の包括利益累計額	113	0.2%	126	0.3%	+13
非支配株主持分	676	1.4%	668	1.4%	-8
純資産合計	25,298	53.9%	25,412	52.5%	+114
負債純資産合計	46,933	100.0%	48,365	100.0%	+1,432

※百万円未満切捨て

（連結・個別）

設備投資・減価償却費および従業員数・車両台数の推移

<設備投資・減価償却費>

単位：百万円

	H26/4-6 (2014/4-6) (1Q期)	H27/4-6 (2015/4-6) (1Q期)	H27/3 (2015/3) (通期)	H28/3 予想 (2016/3E) (通期)
設備投資				
個別	105	358	1,228	2,000
連結	929	2,452	3,372	7,300
減価償却費				
個別	253	179	953	1,200
連結	454	421	1,867	2,410
のれん償却	35	44	158	177

※百万円未満 四捨五入

<主な設備投資>

- （株）津軽バイオマスエナジー（バイオマス発電設備等） 1,650百万円
⇒H27/10月 稼働予定
- （株）花巻バイオマスエナジー（バイオマス発電設備等） 1,030
⇒H29春 稼働予定
- 花巻バイオチップ（株）（バイオマス発電用燃料製造設備等） 750
⇒H29春 稼働予定

<従業員数・車両台数>

	H26/6末 (2014/6)	H27/3末 (2015/3)	H27/6末 (2015/6)
期末従業員数（人）			
個別	580	559	611
連結	1,085	1,103	1,117
収集運搬車両（台）個別	246	248	253
うち 戸建住宅用車両	51	52	52

単位：百万円

	H27/3 (2015/3)		H28/3 (2016/3) E			上期 E		下期 E	
	<実績>	売上高比	<予想>	売上高比	前期比	<予想>	前同比	<予想>	前同比
売上高	26,360	100.0%	30,000	100.0%	+13.8%	13,390	+12.6%	16,610	+14.8%
営業利益	1,937	7.3%	3,000	10.0%	+54.8%	1,070	+36.3%	1,930	+67.5%
経常利益	1,827	6.9%	2,800	9.3%	+53.2%	970	+36.3%	1,830	+64.0%
税金等調整前 当期純利益	4,132	15.7%							
当期純利益 ◆	3,385	12.8%	1,530	5.1%	-54.8%	465	-83.0%	1,065	+63.1%

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て

・ 前回予想(H27/5/15)を据え置き

・ 中期経営計画『VISION for 2020』（5ヶ年計画：平成28年3月期～平成32年3月期）

※ 平成27年5月15日リリース「中期経営計画『VISION for 2020』策定のお知らせ」

最終年度(平成32年3月期)業績目標

連結売上高	600億円
営業利益	100億円
当期利益	50億円

- 2020年東京オリンピックを契機に大きな変貌を遂げる10年先を見据え、「資源循環型社会の実現に貢献する」という当社の企業理念をより具現化
- 東京オリンピックに向けた建設廃棄物処理・リサイクル事業の対応力強化
- 建設分野以外の廃棄物処理の取り組み、再生可能エネルギー事業、環境エンジニアリング事業、環境コンサルティング事業への展開など、非建設廃棄物処理分野についても、積極的に計画・投資（ビジネスドメイン拡充）